

「関西の インフラ強化を 進める会」

第6回
シンポジウム

—世界のリーディングエリアとするために—

関西は首都圏に次ぐ経済圏であり、豊富なポテンシャルを有しているにも関わらず、相対的な地位の低下が見られます。一方、首都圏直下型地震などで首都圏が麻痺した場合に、日本の経済活動等を支えるのは関西しかなく、そのためにも国際協力の強化、日本経済の下支えに資する必要な投資を行っていく必要があります。

本シンポジウムでは、大阪・関西万博を契機として、関西をさらに住みやすく、国内外から人や企業を呼び込むことができる魅力ある街づくりとするために、今後必要なインフラ整備や仕組み等について議論するものです。

プログラム

13:00～13:40 基調講演 「いのち輝く未来社会のデザイン
1970年大阪万博から2025年大阪・関西万博に向けて」
橋爪 紳也氏 大阪府立大学 特別教授

13:40～15:00 パネルディスカッション 「大阪・関西万博を契機に関西の魅力的な街づくりと
今後のインフラ整備等について」

コーディネーター 小林 潔司氏 京都大学 経営管理大学院 特任教授

パネリスト (五十音順) 井上 智夫氏 国土交通省 近畿地方整備局長

高宮 紀子氏 関西電力(株) 地域エネルギー本部 夢洲事業推進プロジェクトチーム 部長

野島 学氏 関西経済連合会 理事

山田 忠史氏 京都大学経営管理大学院 教授

2019年

10月24日(木)

13:00～15:00

会場:

マイドームおおさか

建設技術展 会場 3階 多目的ホール

出演者プロフィール

基調講演者



橋爪 紳也 氏

大阪府立大学 特別教授

大阪府出身。京都大学大学院工学研究科修士課程修了、大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。創造都市や都市文化施設、商業施設に関する総合的な研究を展開。あわせて都市計画や都市文化政策、観光政策の立案、地域ブランディングなどを実践。また、大阪府と大阪市の特別顧問として万博誘致に構想段階から携わる。日本都市計画学会石川賞、日本建築学会学会賞など受賞。

コーディネーター



小林 潔司 氏

京都大学 経営管理大学院 特任教授

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。工学博士。京都大学助手、鳥取大学助教授、教授、京都大学大学院工学研究科教授、同経営管理大学院院長、同経営研究センター長を経て京都大学名誉教授。土木学会 前会長。現在、グローバルビジネス学会理事長、日本アセットマネジメント協会会長。

パネリスト (五十音順)



井上 智夫 氏

国土交通省 近畿地方整備局長

大阪府出身。京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修了後、建設省（現国土交通省）入省。近畿地方整備局姫路河川国道事務所長、同河川調査官のほか、本省河川環境課河川保全企画室長、海岸室長、近畿地方整備局河川部長、同企画部長、本省水管理・国土保全局治水課長を経て、2019年7月より現職。



高宮 紀子 氏

関西電力（株）地域エネルギー本部 夢洲事業推進プロジェクトチーム 部長

大阪府出身。東京大学工学部都市工学科卒業後、関西電力（株）に入社。本店ビル建設プロジェクト、営業、マーケティング業務等を経て、2012年より地域エネルギー本部にてまちづくりのコンセプト提案やスマートコミュニティの推進、中之島のエリアマネジメント活動等の業務に従事。2019年7月より現職。



野島 学 氏

関西経済連合会 理事

大阪府出身。同志社大学経済学部卒業後、関西経済連合会に入局。国際部、産業部次長を歴任し、現在、理事・産業部長。2025年大阪・関西万博、まちづくり、観光インバウンドなどのプロジェクトを担当。



山田 忠史 氏

京都大学経営管理大学院 教授

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。博士（工学）。関西大学工学部専任講師、広島大学大学院工学研究科助教授、京都大学大学院工学研究科助教授を経て、現職（工学研究科教授併任）。専門は、ロジスティクス、サプライチェーンマネジメント、交通計画、物流計画など。